

NA ミニマニュアルフラッシュトリガーEM

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされると、故障の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- 分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関する補償は致しかねます。

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ⚠ 危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
- ⚠ 警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- ⚠ 注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 危険

- バッテリー端子を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。

⚠ 警告

- 本製品を乳児、幼児など、本製品の取扱いの注意事項について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- 本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生によって、人体に影響を及ぼす危険があります。
- 必ず専用のバッテリーをご使用ください。また、新旧のバッテリーを混ぜないでください。
- 濡れた手でバッテリーを触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。

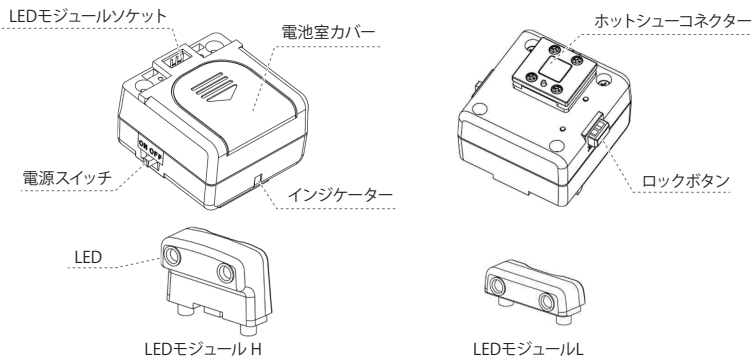
⚠ 注意

- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損するおそれがあります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。

製品仕様

材質：	ポリカーボネート、ABS
サイズ：	37×49×42mm
重さ：	45g(電池含む)
バッテリー：	CR2450リチウム電池 ×2個 (本体に装填済)
発光：	マニュアルのみ
発光回数：	約10000回



各部名称



使用方法

LEDモジュール

使用するハウジングにより、LEDモジュールを選択します。
出荷時は「LEDモジュールH」が装着されています。

LEDモジュール	ハウジンググループ	
LEDモジュールH 	グループ A	NA OM1 NA EM5II NA EM5III NA EM1II NA EM1III NA EM1X NA EM10IV
LEDモジュールL 	グループ B	NA OM5II

LEDモジュールの交換

「LEDモジュールL」を使用する場合は、下記の手順でLEDモジュールを交換します。

1. 本体下部の図で示した部分のネジを、六角レンチ (1.5mm) で緩めます (図1)
2. LEDモジュールHを、上に引き抜きます。
3. LEDモジュールLを、LEDが外側を向くようにフラッシュトリガーのLEDモジュールソケット部に取り付け (図2)、本体下部から六角レンチでネジを締めて固定します。

図1

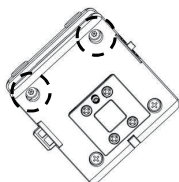


図2



インジケータ表示

インジケータで、以下の状態を表示します。

- | | |
|---------------|--------------------|
| ● 緑点灯 (約 3 秒) | 電源スイッチ ON 時 |
| ● 緑点滅 | 使用可能 |
| ● 赤点滅 | 電池容量低下。電池を交換してください |

CR2450電池の装填 (出荷時に装填済み)

1. 電源スイッチがOFFであることを確認し、電池室カバーをスライドして外します。
2. 1枚目の電池を、+面を上にして入れます。(図1)
3. 金属接点を奥に押しながら、2枚目の電池を+面を上にして斜めに入れます。(図2)
4. 正しく装填されると、電池の横から金属接点が見えます。(図3)
5. カバーを閉じ、電源をONにするとインジケータが点灯します。

! 注意 ・ボタン電池は金属接点の下に差し込むように装填してください。上に乗ると通電不良や故障の原因になります。
・電池は金属接点を押し上げるように入れてください。
・2枚目の電池を真上から押し込まないでください。通電しないほか、接点を曲げるおそれがあります。(図4)

図1



金属接点が電池の上

図2



金属接点を押し上げて起こす

図3

OK!



金属接点が見えている

図4

NG!



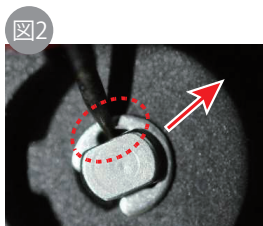
金属接点が見えない

ハウジングの準備 (グループA)

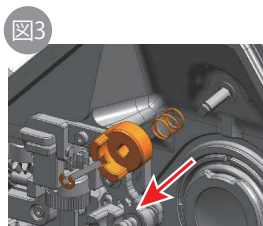
グループAのハウジングで使用する場合、ハウジングのリアボディ内上部にあるフラッシュON-OFFレバー機構がミニマニュアルフラッシュトリガーに干渉するため、ON-OFFレバー機構を取り外す必要があります。



ON-OFFレバー機構を固定しているCクリップを確認します。



Cクリップの隙間にマイナスドライバーを差し込み、引き抜きます。



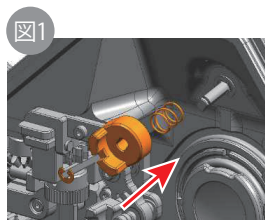
シャフト、ON-OFFレバー機構、スプリングの順で取り外します。

*部品は紛失しないように保管してください。

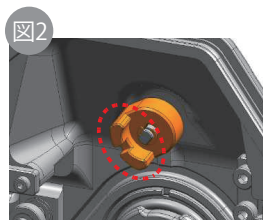
注意 ON-OFFレバー機構を外した後、ハウジング内に残っている軸のCクリップは外さないでください。Cクリップを外すと軸が抜けて浸水します。

ON-OFFレバー機構の取り付け

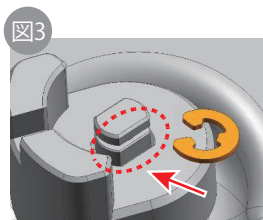
ON-OFFレバー機構を戻す場合は、下記の手順で行います。



ハウジング内に残っている軸に、スプリング、ON/OFFレバー機構、シャフトの順で取り付けます。



ON/OFFレバー機構は、図の位置にくるように取り付けます。



Cクリップをペンチなどでつかみ、シャフトの溝に押し込んで固定します。取り付け後は、フラッシュ「FL-LM3」の電源スイッチが正常にON/OFFできることを確認してください。

カメラへの取り付け

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、ホットシューコネクタをカメラのアクセサリシューの奥に突き当たるまで差し込みます。
2. 電源をONにして、インジケータが緑点灯から点滅になることを確認し、カメラのシャッターを切ってLEDの発光を確認してください。



カメラからの取り外し

1. 電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
2. ロックボタンを押しながら、カメラから取り外します。

